

第5次立科町振興計画 後期基本計画（案）に対するご意見等（パブリックコメント）及び回答

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
1	計画書の構成	第5次立科町振興計画（平成27年2月発行）のうち第1編第1章振興計画の策定にあたってと第2章立科町のすがた、第2編基本構想については振興計画全体を捉えるために、後期基本計画にも掲載すべきである。	修正	ご意見のとおり、掲載します。（第1編第2章立科町のすがたのデータ部分については新しいデータを加えて掲載）
2	計画書の構成 （進捗管理と計画の見直し）	各章に掲示の成果指標については、前期基本計画の表についても記載すべきである。 ※目標に達した・達しないものについて評価・コメントを付し、「施策の内容」に新たに加えた施策の解説（指標の記載が違う場合でも同内容であれば旧指標名を併記）すべき。	参考	前期基本計画の指標については、前期基本計画を参照ください。（ホームページ、役場行政資料コーナーに計画書を備えています）また、後期基本計画策定にあたり実施しました住民意識調査の満足度については、前回調査から聞き取り方の表現を変えて（現状の満足度をよりの確に捉えるため、何を問われているかをわかりやすく変更）いるため、前期基本計画策定時の満足度と一概に比較できない部分も含まれます。 ※指標値の推移は様々な要因に基づくものがほとんどです。指標値の結果については、計画案の「現状と課題」、指標値を目標とするための施策の考え方は「施策の方針・施策の内容」に反映し、記載されているものをご理解ください。
3	計画書の構成	計画書中の※総合戦略：具体的な施策の欄には担当部署を記載されたい。	修正	ご意見のとおり、所管課を記載します。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
4	第1章 1 心とからだの健康支援	特定健診は良いが、十分な注意がされないのが残念。今年度8/8他人の間診票を渡すということがあり、あってはならないことである。健診の信頼性が無くなり、受診率が低下してしまうのではないか。	参考	ご指摘の事項については、細心の注意と慎重な対応が必要なものであり、間診票の渡し間違いが発生したことに関しましては誠に申し訳なく、改善に努めてまいります。この件は実施機関及び町で情報共有しており、改善に向け再発防止策を講じてまいります。
5	第1章 3 地域医療体制の充実	日赤病院の統廃合に反対し、存続を望む。	参考	厚生労働省により、再編・統合の必要性がある公的病院として実名公表されましたが、他自治体を含む地域唯一の入院施設であり、地元住民にとって必要な医療機関であることを主張してまいります。
6	第1章 4 地域福祉の充実	福祉ボランティア登録の状況が減少していることについてのコメントを。※「地域福祉」の取組みに対する住民満足度が下がり、小地域見守り支え合い活動団体が減少するなかで<現状と課題>が前期基本計画と同じ内容であって良いのか。	参考	人口の減少や高齢化により、ボランティア登録数は減少傾向となっています。今後は、若年層からボランティア参加の声掛けを行い、幅広い年齢層のボランティア参加を促してまいります。
7	第1章 4 地域福祉の充実	台風災害関連の対応で見た課題はないか。	参考	台風災害についての課題については、町の防災計画において検討してまいります。
8	第1章 4 地域福祉の充実 P29	○地域資源の確保に向けて、…検討を行います。 の地域資源とは何か。	—	地域資源とは、地域に既存にある資源（地域で行っているサロンや、ボランティア団体など）を指します。
9	第1章 4 地域福祉の充実	上記（No.6～8）を踏まえて具体的な施策の取組みを望む。	参考	様々な活動をつなげ、活用することで高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らしていける仕組みづくりに取り組んでまいります。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
10	第1章 5 高齢者福祉の充実	立科町の高齢者の割合が長野県平均より5～6年も早く進んでおり、これを変える対策が必要である。高齢者の力を活かせる「システム」「組織」などをつくってはどうか。高齢者の活躍が町の活性化にもつながると思う。	参考	身近な地域で支え合い、参加する包括的、継続的な地域包括ケアシステムの整備を図ります。既にある団体等を支援するとともに、新しい地域資源の育成等を進めてまいります。
11	第1章 5 高齢者福祉の充実 P33	○ <u>地域包括ケアシステム構築に向けた…身近な地域で支え合い、参加する包括的、継続的な製整備</u> の下線部の具体的施策は何か。	—	立科町地域支援づくり推進会議（たてしな”ずく”りの会）や生活支援コーディネーターによる地域のニーズ把握と地域資源の連携や育成、地域ケア推進会議の開催、健康支援サポーター養成、認知症サポーター養成、事業者等との連携による見守り体制の推進等を指します。
12	第1章 6 介護サービス事業の充実	（介護老人福祉施設）「すずらん」の介護士不足による、部屋はあっても入居できない人がいる課題、養護老人ホーム待機者の解消についての課題を<現状と課題>に記載すべきでないか。（それに伴い、施策で対応できることがあれば併せて施策に反映を）	掲載済み	P34<現状と課題>として、「町はハートフルケアたてしなと引続き、地域福祉に寄与するよう、運営方針、事業、予算等について協議していく必要があります。」として捉えております。また、介護人材不足についても、P35<施策の内容>2介護サービス施設整備の促進で「○介護人材確保のために、情報収集するとともに国、県等と連携を図ります。」としています。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
13	第1章 7 障がい者福祉の充実	障がい者が安心して生活できる環境に対する住民満足度が前期の現状値（H25：24.2％）から9.5％と著しく低下しているが、前期基本計画と同じ内容で良いのか。 （例：エレベーター設置、公共施設・学校等施設の改善）	参考	前回と調査項目の設定を変更したことにより、数値に大きな変化が見られますが、住民満足度の低下については大きな課題と考えます。基本計画につきましては、継続した方針で取組みを行い、次年度（令和2年度）に策定する障害者福祉計画のなかで、こうした課題について検討してまいります。
14	第1章 9 温泉館「権現の湯」の充実	大規模改修をしたのだから、大切に長く利用できるよう町民全員で守っていかなければならない。そのためにも入館料を「400円⇒500円」にしたことは残念なことである。他の施設と差別化を図るためにも「400円」にすべき。	参考	使用料（入館料）の改定については、昨年度『立科温泉「権現の湯」施設改修等検討会議』から意見書が提出され、温泉館の安定運営につながるよう、町も十分に試算・検討した結果であります。
15	第1章 9 温泉館「権現の湯」の充実	職員全員でのサービス向上に努めることと、イベントの充実が必要。	一部修正	サービス向上については、計画案に記載しております。イベントの充実については、P41※総合戦略：具体的な施策に「○利用促進のためのイベントの開催と新規イベント等の検討」を追記します。
16	第1章 9 温泉館「権現の湯」の充実	利用促進にあたっては季節ごとの各種イベントについても記載してはいかがか。	一部修正	具体的なイベント名は5年間の計画のなかで変更することもあるため記載できませんが、施策の方向性を示すため、P41※総合戦略：具体的な施策に「○利用促進のためのイベントの開催と新規イベント等の検討」を追記します。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
17	第2章 1 たくましく羽ばたく 立科っこ教育	中高一貫校にしていく。(立科中学・蓼科高校) 小学校での英語授業が始まる、町としても教員の フォローをしていく。	一部修正	P 44<施策の内容> 4 教育環境の整備充実に「○ 児童・生徒数の動向と学校施設の老朽化も鑑み、 将来的な学校の在り方について研究を進めていき ます。」 を追記します。 英語授業については、※総合戦略；具体的な施策 でA L Tの活用を謳っております。
18	第2章 1 たくましく羽ばたく 立科っこ教育	本後期基本計画は令和6年までの計画であり、こ の間、小学校入学数は40名前後で推移し、令和6 年には小中学校合わせて320～360名、教室数も 18教室で収まるものと推測される。このような状 況において、小中統合・小中一貫校の検討が令和 2年度から当然のこととしてなされるべきであ る。小学校の老朽化も進み、建替え等の話題も出 ると推測される。小中一貫校での統一校舎に対し ての国の補助事業もあるのではないかと思うが、 この点を計画に反映すべき。	修正	P 42<現状と課題>に「▽ 本町においても少子化 による児童・生徒数の減少が進んでいます。将来 的な学校の在り方について検討していく必要があ ります。」 を追記し、P 44<施策の内容> 4 教育 環境の整備・充実に「○ 児童・生徒数の動向と学 校施設の老朽化も鑑み、将来的な学校の在り方 について研究を進めていきます。」 を追記します。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
19	第2章 1 たくましく羽ばたく 立科っこ教育	<p>P44<施策の内容>4 教育環境の整備・充実</p> <p>○地元高校の発展・充実に向けた支援を図り、次代を担う人材の育成に努めます。</p> <p>※総合戦略：具体的な施策</p> <p>○地元高校の発展、充実に向けた支援（スクールバス、ポプラアカデミー）とある。</p> <p>本基本計画の前提は、前期5年間の施策・事業の進捗や取巻く課題の状況等を評価・検証し、町民の意見を反映し策定するとあります。</p> <p>地元の県立高校の自助努力による発展は誰もが望むことと思う。しかしながら、昭和62年から現在、特に直近の12年間を検証すれば、町の税金を1億円弱支援しているにもかかわらず、発展、充実しているとは思えない。その証として、入学志願者数の減少、特に立科中学校の生徒の入学人数は著しく減少し、卒業生の2割程度の状況が続いているようである。</p>	一部修正	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識調査の結果からは蓼科高校に対する期待度というものはわかりません。 ・義務教育終了後の生徒への支援策は、基本的には町長が施策として提案し、議会の同意を得て行われるものと認識しております。現状で計画に盛り込むことは不適切と考えます。 ・蓼科高校は先達が陳情を重ね、努力して作り上げた地域高校という歴史があります。支援の理由は地元高校を存続させるためです。現状、町が通学手段を確保しなければ高校再編基準により存続できなくなる可能性が高く、地元高校が無くなるという事態になれば町の活力低下につながり、また、高校進学を諦める事象が起きる可能性も否めません。このようなことから政策として支援をするものです。 ・同窓生の支援については、蓼科高校同窓会が主体となるべきことであり、町として計画で言及することは不適切と考えます。

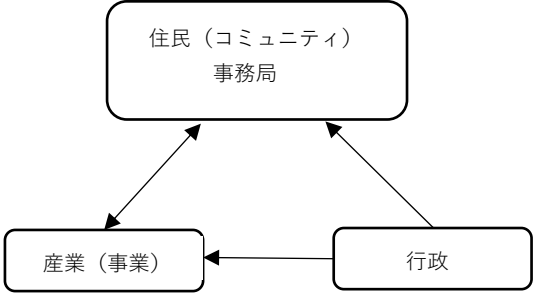
No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
19 (続き)	第2章 1 たくましく羽ばたく 立科っこ教育	<p>小中高一貫の教育プログラムを取入れた、子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいるかの住民意識調査の結果でも、小中学生の父兄は、18.2%が満足・やや満足で、不満・やや不満が22.7%という結果からも、地元高校に対しての期待度は低いと思われる。子どもが生きていく力をつけることを目指すのは、全町的な立場からするならば、町外に通う多くの高校生に対しても、手厚い支援、教育環境の整備・充実を図るべきと考える。</p> <p>地元高校の発展・充実に支援をするならば、なぜ支援をするのかの根拠を明確にすることが不可欠と考える。一般的には同窓会が支援をするものであると思うが、在住2,000人近くの同窓生の支援、仮に5,000円として1千万円、この点も町で言及すべきと考える。</p>	一部修正	<p>P 44<施策の内容> 4 教育環境の整備・充実 「○地元高校の存続・発展・充実に向けた支援を図り、次代を担う人材の育成に努めます。」に修正します。</p> <p>※総合戦略：具体的な施策 「○地元高校の存続、発展、充実に向けた支援（スクールバス、ポプラアカデミー）」に修正します。</p>

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
20	第2章 2 子育て支援の充実	子育てに関わる人への支援体制に対する住民満足度の低下H25：22.5%⇒H30：15.7%の要因は保育園、保育にあると思われる。上小・佐久地域と比べ、保育が旧体制であるとの指摘がある。（計画内容はこのままで良いと思われるが、追記があればお願いしたい。）	参考	前回調査は「子育て教育・保育の充実」との設問としており、今回調査と内容が異なるので一概に比較はできませんが、今回調査では、満足・やや満足の数値が、就学前の子がいる方は27.5%、保育園等の子がいる方は28.2%と高くなっており、前回に比べての全体数値の低下が保育園に起因するとは言えないと考えます。また、「保育園が旧体制」との指摘の内容が不明であります。計画の中に、保育サービスの充実・子育て環境の充実を謳っておりますので、計画内容の変更はありません。
21	第2章 3 学びによる豊かな人生を目指して	中央公民館は段差だらけでよく今日まで大きな事故なく来れたものと思う、建替えるならばよく考えてほしい。図書室については、小・中学校の図書館を充実して町民利用を可能にしてはどうか。（矢祭町では全国から本を送ってもらっている。）	参考	中央公民館の整備については、図書室の在り方も含めて、まちづくり創生会議で今後検討いただく予定でありますので、参考にさせていただきます。
22	第2章 4 スポーツで築く健康で豊かな人生と絆づくり	後期基本計画期間中には東京オリンピックもあり、町では蓼科クロスカントリーコースも整備された。計画の記載は前期と同様で良いと思うが、“特に立科は！”といった特色があれば良いと考える。マレットゴルフコースやクロスカントリーコースなど町の施設を活かして健康増進に寄与していくなどの記載があっても良いのではないかと思う。	修正	P51<施策の方針> 「生涯にわたり、生活の一部としてスポーツ活動や運動を <u>楽しみ健康の増進が図られるよう、町内施設や活動機会の充実に努めます。</u> 」 に修正します。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
23	第3章 1 町の魅力が活きた農業・ 農村づくり	P 59総合戦略数値目標 黒字企業比率、製造品出荷額等について 他の項目の目標値は上がっているのに、この目標 はなぜ下がってしまうのか。	—	平成28年度（2016年）は、円安（原油安）等が 好材料になり、製造品出荷額等が伸びたもので す。毎年の変動も大きく、過去5年の平均は 7,920百万円です。目標値は（修正せず）9,000百 万円以上として施策に取組みます。
24	第3章 4 魅力ある観光の振興	（スキー場について）早急な決断をすべきであ る。長野市飯綱スキー場のように正しい決断を。 （キャッシュアウトになって10年以上となれば大 変どころではない。）	参考	立科町の観光のシンボルであるスキー場を無くす ことはできません。 公設民営による指定管理者方式への移行に向けて 進めてまいります。
25	第3章 4 魅力ある観光の振興	P 68<現状と課題> ▽観光ニーズの多様化等により、…観光客が減少 しています。そのため、女神湖・白樺湖周辺の未 営業施設が増回し、これが観光客の満足度の低下 につながり、観光客減少の要因の一つとなってい ます。と述べているが、これに対して<施策の 内容>、総合戦略：具体的な施策において、この 課題に対する内容が提示されていない。 女神湖通りのゴーストタウン化もあわせて、対応 策・具体的な施策を明示すべきと考える。 従前より、この課題は指摘されており、施策を しっかりと検証し、その結果も明らかにすべき。	修正	P69<施策の内容> 1 魅力溢れる観光地づくり 「○観光資源の発掘及び既存施設の維持管理、女 神湖商店街の空き店舗等未営業施設の解消に向 け、建物所有者に営業再開等の働きかけを地元区 や観光協会などの関係機関と連携することで、観 光地全体の景観形成を推進し、観光サービスの質 の向上と来訪者の満足度向上に努めます。」に修 正します。 P 71※総合戦略：具体的な施策 「○女神湖商店街の空き店舗等未営業施設の解 消」を追記します。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
26	第4章 1 おいしい水の安定供給	P75成果指標の有収率 平成30年度 67.9% これは漏水率32%ということか。現在、この数字とすれば水道施設としてありえない。	—	有収率の低い要因は、主に蓼科地区をはじめとする簡易水道において、配水管の破損等による漏水によるものと考えております。破損箇所が発見できれば修繕しますが発見が困難です。有収率は一般的に用いられる指標のため掲載していますが、配水池でオーバーフローした水は結果捨てられていますし、水の調達コストは低いので、有収率を上げるために何らかの費用を投じる計画はありません。
27	第4章 2 排水処理事業の維持	P77<施策の内容> 4 下水道処理施設の合理化 合理化とあるが、防災面では管渠及び処理場施設の系統の多様化と言っている。台風19号の災害で佐久市・長野市も処理場が利用できなくなった。合理化も十分考えて行ったほうが良い。	参考	ご意見のとおり、施設の維持コストとリスク対策のバランスを考慮してまいります。
28	第4章 4 自然環境・景観の保全と土地利用	景観も防災面の保全のためにも、行政指導により農地の草刈を責任をもって行うようにする。	参考	行政が直接指導することはできませんが、計画の<施策の内容>において、「自然豊かな農村風景を守るため、住民と協働で景観の整備に努めます。」と記載のとおり、広報等で周知し、意識の醸成に取り組めます。
29	第4章 5 循環型社会の推進	畑と発電所のソーラーシェアリング（営農型）を目指してはどうか。 温暖化防止は待ったなしの状況にある。	参考	「温室効果ガスの排出削減に向けた取組の推進」に対し、関係部署と連携のうえ計画の策定を図ります。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
30	第4章 6 交通網の総合的整備	現除雪計画路線を検討し、見直しをすること。	参考	作業能力からすると除雪路線を増やすことは難しく、減らすことも地域の皆さんの合意を得ることは難しいと考えますので、現状維持とします。
31	第4章 7 河川整備の促進	実際に災害があった地域への早急な河川整備を求める。河床整備（浚渫を行う）・河川断面を検討するのが一番良いと思う。	参考	氾濫の危惧される箇所において、計画的な整備を検討します。
32	第4章 8 公共交通の充実	集落地域を支える、複合機能拠点として地元への定住、循環をつくる。コミュニティバス・デマンドタクシーにより集落から拠点へのアクセスを確保する。また、道の駅に農家レストランなどコミュニティスペースを併設。都市部と拠点とのアクセスを確保し、機能補完する。	参考	たてしなスマイル交通は、町の中心部である芦田エリアをハブとして、各地域を結ぶ運行となっております。また、拠点バス停である「立科町役場前」は、近隣市（都市部）を結ぶ地域間幹線の接続拠点でもあり、アクセスの確保に努めており、計画の施策の内容に記載しております。 拠点バス停への農家レストランなどコミュニティスペースの併設については、今後研究してまいります。
33	第4章 10 日常生活の安全確保	P97※総合戦略：具体的な施策 4 防犯意識の高揚と地域ぐるみの防犯活動の推進 ○防犯カメラの設置 とあるが、どこに設置するのか。権現の湯の駐車場につけてほしい。	参考	防犯カメラは防犯上必要と思われるところに設置していきます。権現の湯の駐車場には防犯カメラは1台設置してありますが、すべてをカバーできるわけではないので、その点については検討させていただきます。

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
34	第5章 2 地域コミュニティ活動の 促進・支援	<p>新しい地域運営の三角形 (地域自治組織) <人・財源・施設等地元移行></p>  <pre> graph TD A[住民(コミュニティ)事務局] B[産業(事業)] C[行政] B --> A C --> A A --> B </pre> <p>役所職員現地配置+地区担当制など</p>	参考	<p>ご提案の「新しい地域運営の三角形」については、現状ここまでの検討はしておりませんが、職員数や財源などに限りがあり、小規模の町では難しい課題が多いと考えます。</p> <p>当町にあった方法として、町では役場全職員を地域担当職員として各区・部落に配置し、地域の方とのコミュニケーションを通じ、地域の声を聞き共に考える、地域と行政のパイプ役としての「地域担当職員制度」を行っております。また、地域の意見を町政に反映するため、区長・部落長を対象にした町政懇談会を開催するなど、地域のコミュニティ活動の推進や支援に努めており、計画のなかでも、その旨を記載しております。</p>
35	第5章 5 計画的・効率的・効果的な 行政運営	<p>職員採用にあたり「コネ」「縁故」「選挙」などでの採用により、良くない結果が出てはいないか、採用に問題はないか。人材・能力をしっかりと見極められているか。行政能力がない者が問題を起こしている。</p> <p>P110では職員の研修を掲げているが問題が無くなるのだろうか。</p> <p>※職員の研修会に住民を交えた研修会を行ってはどうか。チェックには町民にも入ってもらうようにすべきでないか。</p>	参考	<p>職員採用については公正に実施しています。限られた人員のなかで職場の人員配置をし、研修も行っています。</p> <p>また、職員研修に住民が参加いただくことは考えておりません。</p>

No.	項目・頁等	意見	修正等	意見に対する町の考え方
36	人口減少について	<p>転出が多すぎる。</p> <p>12月 転入 12人 転出 4人</p> <p>1月 転入 10人 転出 22人</p> <p>まずは、女性が住みやすいまちづくりが必要。</p> <p>20代、30代の女性が住んでいただけるように。</p> <p>子育て世代の移住者増加を。</p>	参考	<p>高校卒業に伴う10代後半の社会減が多く、20代、30代においても流出した人口が戻ってこない現状を打破するためには、就労場所の創出と子育て支援の充実が必要と考えます。</p> <p>ご意見にもあるように、20代、30代の女性が当町にU・I・Jターンできる条件を整える取組みとしては、移住推進の情報発信や相談支援等はもちろん、子育て世代への支援やテレワーク事業による就労場所の確保等を実施しているところですが、さらに取組んでいけるよう計画に記載しております。</p>